競争力が弱いということだ。こうした農畜産
農林水産省の調べでは、TPP交渉参加国
予
たり一～二㌶程度と狭く、生産コストは外国
Q　外国産に押されるばかりなの。
物の人気は高い。畜産品でも牛肉では松阪牛
をのぞく都府県では酪農は成り立たなくな
ことになる。
（山口哲人）

日本での会合も年内に予定されているとしつ

# 原発防災計画

# 87自治体 策定遅れ

## 福井県「未定」 30キロ圏内の半数以上

原子力規制委員会事務局は十九日、原発の周辺自治体がつくる地域防災計画の進行状況をまとめた。事故の際に住民がどう避難するかなどを定めるが、半数以上の八十七自治体でまだ計画を作り終わっていなかった。

### ●地域防災計画づくりの状況

| | 道府県 | 市町村 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 終わった | 13道府県 北海道 青森 宮城 新潟 静岡 岐阜 滋賀 京都 鳥取 島根 愛媛 福岡 長崎 | 57 | 70（44・6％） |
| 3月中に | 6県 福島 茨城 石川 山口 佐賀 鹿児島 | 34 | 87（55・4％） |
| 4月中に | 1県 富山 | 18 | |
| 5月以降または未定 | 1県 福井 | 27 | |
| | | | 計157 |

（原子力規制委まとめ）

計画づくりが求められるのは、原発三十キロ圏にある二十一道府県と百三十六市町村の計百五十七の自治体。国の指針が改定され、十八日までにまとめることになっていた。

事務局が計画づくりの状況を、自治体に聞き取った結果、自治体の防災会議で計画が了承され「まとまった」と答えた自治体は、十八日時点で七十だけだった。

福井県は県内分の計画を昨夏にまとめたが、県境をまたいだ広域の避難計画がまとまっておらず未定と回答。二十七の市町村は、まとめる時期を「五月以降または未定」と回答した。

計画をまとめたと答えた自治体でも、避難の手段などが決まっていなかったり、訓練もしていなかったりという事例が多い。

## 3・11鎮魂の日 条例が成立

### 宮城 県立校休みを検討

東日本大震災が発生した三月十一日を「みやぎ鎮魂の日」とする条例が十九日、宮城県議会で可決、成立した。条例は来年から適用され、県は学生が慰霊行事に参加できるよう、県立高校などを休みにする方向で検討する。

条例は「復興を果たした後も亡くなった方のことを思い続ける日にしたい」（村井嘉浩知事）として、県が昨年秋から制定を検討。県議会の二月定例会に条例案を提出していた。

県は高校や特別支援学校など計約百校ある県立学校について三月十一日を休みとしたい考えだが、各市町村の教育委員会が管轄する小中学校については各教委の判断に任せるとしている。

# インフラ集中点検へ

## 国交省 新年度 道路など老朽化対策

国土交通省が検討しているインフラの老朽化対策や維持管理に関する工程表が十九日、判明した。二〇一三年度に道路や河川の集中点検とマニュアル類の見直しを行い、一四年度からは改定した新マニュアルで管理する。

太田昭宏国交相がトップの社会資本老朽化対策会議で二十一日に決定する方針。

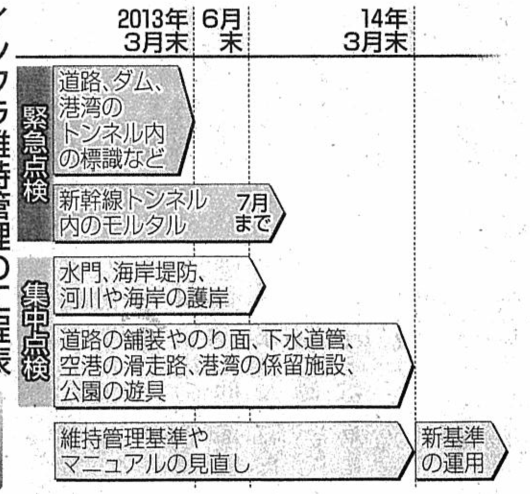
全国で高度経済成長期に整備したインフラの急速な老朽化が見込まれることから、早急な対策が必要と判断した。

国交省は中央自動車道笹子トンネルの天井板崩落事故を受け今月末まで、国などが管理する道路やダム、港湾のトンネル内にある標識などの緊急点検をしている。モルタル片の落下が相次いで見つかった新幹線のトンネル点検は七月までに終える。

工程表は、梅雨や雪解けで河川の水量が増える六、七月ごろまでに、水門や海岸堤防、河川や海岸の護岸を点検。一三年度末までに、道路の舗装やのり面、下水道管、空港の滑走路、港湾の係留施設、公園の遊具を点検するとしている。

結果を踏まえ、一三年度中にインフラの維持管理に関する基準やマニュアルを改定。点検の対象や方法、頻度などを考慮し、一四年度以降は新基準を適用する。また、一三年度末までに、点検結果を一元化したデータベースをつくり、担当者が変わっても管理状況を引き継げるようにする。

### インフラ維持管理の工程表

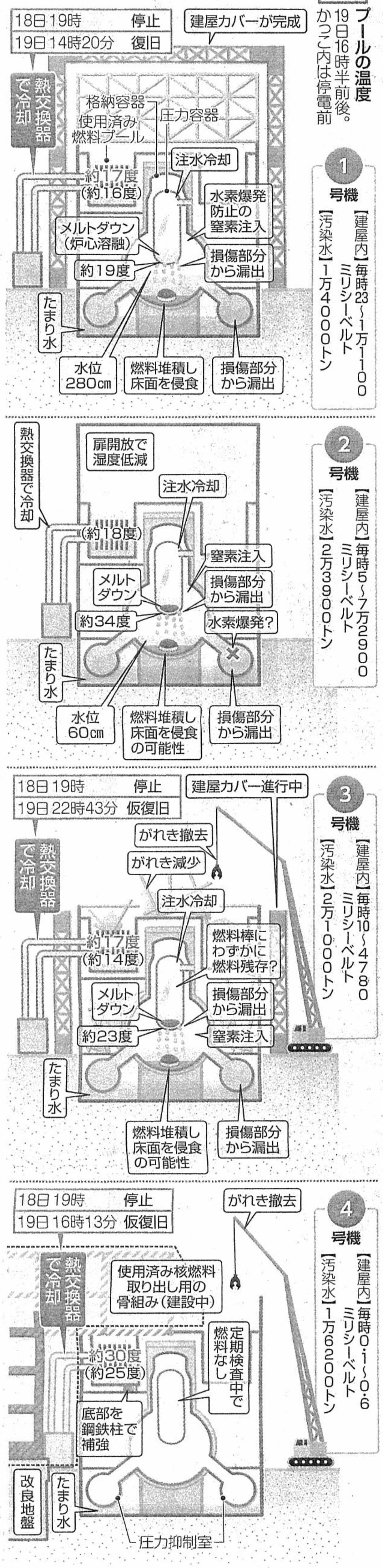



ト抑制に向け、関係四閣僚による初会合を首相官邸で開いた。調達する資源や調達先の多様化に向け、具体的な戦略を練る。

四閣僚会合は菅義偉官房長官が主導し、茂木敏充経済産業相、石原伸晃環境相、岸田文雄外相で構成する。

初会合では、液化天然ガス（LNG）の輸入や石炭の活用について協議した。石炭は安価で電力会社からの要望が強い一方、二酸化炭素（$CO_2$）排出量も多いことから、経産、環境両省間で協議を続けることになった。

菅氏は記者会見で「これまで（エネルギー資源の調達に関する）戦略が足りなかった。石炭も含めて多様化させ、国民の負担をできるだけ少なくするということに配慮すべきだ」と述べた。

## 福島第一原発の現状

（建屋内の線量はこれまでの計測値）